
名探偵コナンの高校生活

落ちぶれた天使

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵コナンの高校生活

【Nコード】

N9035Y

【作者名】

落ちぶれた天使

【あらすじ】

ああああああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああああああ
ああああああああ

ああああああ（前書き）

ああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああ
ああああああ

ああああああ

歩美「ねえねえ、部活どうする？」

蘭「でも、みんな部活の勧誘がすごいもんね。新一はサッカーとか運動系はほとんど。あとはミステリー部。歩美ちゃんは陸上とミステリー。げんたくんは柔道部とミステリー。光彦君は陸上とミステリー。哀ちゃんは料理と科学とミステリー。私が空手と料理とミステリー。」

げんた「俺さ、自分たちで探偵部つくりてえな」

光彦「そうですね！ぜひやりたいです！」

蘭「私、空手つづけたいけど空手は近くにある教室にかよえばいいか。」

哀「となるとまずはほかの部活の勧誘を断ることね。」

新一「ああ。俺はサッカーは3対1で勝負して俺が勝ったら勧誘はなくせて、まけたらサッカーにはいるっていうよ。」

歩美「ミステリーは本よんでるだけだから工藤邸の本の数を話せば大丈夫だね。」

蘭「じゃあ空手は1対1して新一みたいに」

哀「料理は興味ないっていうわ」

光彦「陸上も料理と同様でいいですね」

げんた「柔道は教室に通うからっていうぜ」

新一「そういえば蘭。なんでオメー陸上から勧誘うけなかったんだろーな？」

光彦「たしかにそうですね。蘭さんは新一さんが50メートル4秒ぐらいなの1秒後ぐらいですもんね。」

蘭「ああそれは中3のときに陸上部の先輩が無理やりナンパしてきたから後ろ回し蹴りでちよっとぼこっちゃったのよ〜それでかな？」

新一「ははは・・・」

ああああああ（後書き）

ああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああ
ああああ

探偵部

なんとか全員部活の勧誘を撃退して探偵部をひらくこととしていた。

蘭「顧問はだれにたのもうっか。」

歩美「今年新任の秋穂先生は？優しそうだし、保健担当の先生だから、私たちが勉強するにはぴったりだよ。」

哀「そうね、あの先生は女性だから蘭や、歩美がナンパされることはないだろうし。」

蘭「な、ナンパなんてされないよ？」

歩美「うん。哀のほうがされるんじゃない？」

光彦「皆さん、きれいですから仕方ありませんよ。」

哀「あら、あなたも最近人気で来たんでしょ？」

歩美「げんたくんもね。」

光彦「まあ、新一君には負けまずけどね。」

げんた「新一はいまはじまったことじゃねえだろ。」

新一「うっせ。」

6人は雑談を楽しんでいた。

蘭「あ、園子も入りたいてっていったよ？園子ならいいよね？みんな。」

歩美「だいかんげいだよ。」

哀「まあこれで蘭と工藤君をからかうリーダーができたわね。」

蘭「か、からかうってなにをよ！！」

新一「からかう要素なんてねーぞー！！」

歩美「二人とも顔まつか」

哀「でもどうせ二人は18になったら結婚するんでしょ？」

蘭「・・・・・・・・・・」

新一「・・・・・・・・・・」

二人は顔を真っ赤にしてしまった。

二人の指にはきれいな婚約指輪がはめられている。

哀「ま、さっそく秋穂先生のところにいくわよ。」

（保健室）

秋穂「へえ、探偵クラブ。いいわよ。顧問やってあげるわ。」

秋穂は優しくほほえんだ。

秋穂「でも私なんかでよかったの？」

歩美「先生だからいいんだよ？私たちしよっちゅう新一君のせいで事件に遭遇しちゃうし、そのときは先生の技術が必要なの」

新一「俺のせいでは余計だ。」

秋穂「へえ。工藤君は高校生探偵として有名なものね。でも私、したいなんてみたことないわ……」

蘭「私も何度みてもなれないんです……。たく、どうしてこの推理大馬鹿の介は好きで事件現場にいきたがるんだか。」

新一「いいだろ？別に……」

秋穂「あら、二人の指につけてるのって婚約指輪？」

蘭「あ、そ、そうなんです……」

秋穂「じゃあ二人とも18になったら結婚？」

新一「はい……」

蘭「はい……」

秋穂「もお、熱いわね」

歩美「二人とも、告白するのに何回も私たちがしかけたのになかなか二人ともはずかしくてしなくて苦労したんだっただよね」

哀「ええ。あの展望レストラン、園子が貸切にしてるとはまさか思わなかったでしょうね。あそこで18になったら結婚してください！！なんて。」

蘭「もお。やめてよお¥¥¥¥」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9035y/>

名探偵コナンの高校生活

2011年12月15日23時49分発行